

◆岩松院ご案内

- ◆拝観時間／●4月～10月 午前9時～午後5時 ●11月 午前9時～午後4時30分  
●12月～3月 午前9時30分～午後4時  
※終了時刻30分前には、お入りください。
- ◆休みの日／●年末年始 ●年間を通し法要及び行事の日
- ◆所要時間／約40分間→団体拝観にて説明をお聞きの場合〈要事前予約〉  
(冬期間は、短時間で、又シーズン時は、少し余裕を)
- ◆御朱印／朱印帳(納経帳)承ります。 ●記帳料 300円  
※大勢の方の記帳がある場合は、添乗員様かガイド様に取りまとめて頂きますと大変たすかります。

※御堂内で守って頂きたい事項

1. 御堂内の撮影は、すべて禁止です。撮影機材は、なるべく持ち込まないでください。
2. 喫煙、飲食、又ベット等は、ご遠慮願います。
3. お静かにねがいます。(酒気帯びの方、泥酔状態での参拝は、ご遠慮願う場合がございますのでご承知おさください。)



岩松院全景 Complete View of Gansho-in Temple

岩松院年中行事

12月31日	9月8日	8月13日	4月29日	3月15日	1月1日
日	日	日	日	日	日
		16日		3月15日	1月1日
				3月15日	1月2日
除夜の鐘	釈尊成道会(お悟りの日)	秋分の日・大施食会法要	お盆会	釈尊涅槃会(やしよんま)	新年祈禱会
			さくら祭	大般若法要・佛教婦人会総会	年頭回礼

曹洞宗 岩松院  
梅洞山

〒381-0211 長野県上高井郡小布施町雁田

☎026-247-5504 FAX026-247-6560

http://park19.wakwak.com/~gansho-in

A Guide to Gansho-in

信州・小布施

曹洞宗 岩松院  
梅洞山 がん しょう いん



The Deva Gate

[岩松院の沿革]

開創は文明4年(1472)雁田城主の萩野備後守常倫公の開基で、開山は不琢玄珪禅師。本堂は136.5坪。その他庫裡、鐘楼、坐禅堂、仁王門がある。本尊は宝冠をいただく釈迦牟尼仏で、江戸時代初期(慶長かその直後)の作。

# 北齋・正則・一茶 ゆかりの古寺



大間天井絵「鳳凰図」  
Hokusai Painted  
[Chinese Phoenix (Hoo)]

## 【本堂の大間天井絵「八方睨み鳳凰図」】

葛飾北斎(1760~1849)最晩年の作品。間口6.3m、奥行5.5mの大画面を12分割し、床に並べて彩絵した後、天井に取り付けられた。鳳凰図は朱・鉛丹・石黄・岩緑青・花紺青・べろ藍・藍などの顔料を膠水で溶いた絵具で彩色され、周囲は胡粉、下地に白土を塗り重ね金箔の砂子が蒔かれている。画面には絵皿の跡など制作時の痕跡が残っている。

## 【高井鴻山書「無」】

鴻山(1806~1883)は小布施村の豪商高井熊太郎の四男。京都九條家ほか飯山藩の御用達を務める代々の素封家。15歳より京都及び江戸へ遊学、当代一流の師について儒学、絵、書などを学んだ北信濃きっての文化人である。



Kozan Takai writing "Mu"

## 【福島正則の霊廟】

元亀天正年間の戦国武将福島正則公(1561~1624)は豊臣秀吉の重臣として、賤ヶ岳の戦いでは「七本槍の第一」と称せられ、また関ヶ原の合戦でも勇名をかせ、広島城(49万8千石)の大大名になったが、幕府の謀略により元和5年(1619)秋この信越地方(4万5千石)に国替えさせられた。在信5年。悲運をなげきつゝ寛永元年(1624)7月13日、64歳で薨じた。霊廟には遺骨を埋葬し、高さ約2.5mの大五輪塔を建立し、「海福寺殿前三品相公月翁正印大居士」の戒名を刻む。遺品には、左遷状や太閤葬儀行列帳などの文書、観音像、大槍、馬具、日用の什物などがある。



福島正則肖像画  
Portrait of  
Masanori Fukushima



福島正則公の霊廟 Mausoleum of Masanori Fukushima

## 【一茶と蛙合戦の池】

寺の桜の花見時になると、裏庭の小さな池に、大人の手のひら大のひき蛙がいつこともなく集まってくる。めすが産卵するのをめすが手伝うのだが、めすが少ないために、うばい合いとなって合戦となる。一年の内の約5日間、昼夜の別なく、蛙が入れ代り立ち代り、くくみ声をあげての戦いは静かな山寺の春の風情でもある。

俳人・小林一茶(1763~1827)は文化13年(1816)4月20日に当地を訪れ、合戦を見て「やせ蛙まけるな一茶これにあり」と詠んだ。病弱な初児・千太郎への声援の句であるが、その願いもむなしく千太郎は一ヶ月たらずで世界した。一茶54歳の時。



一茶句碑  
Haiku Monument of Issa



蛙合戦の池 Pond of the Battle Frogs